

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 21 日

所属	商経学部	職名	教授	氏 名	山内真理
研究課題	英語教育・英語学習における生成 AI の活用：自律的な言語学習者の育成のために				
研究キーワード	Duolingo, ゲーム型学習, リフレクション, フィードバック	当年度計画に対する達成度		3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した	
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう	該当なし		該当なし

1. 研究成果の概要

(a) English Central (自習課題) は春学期に試用し、英語力向上意欲および英語でのコミュニケーションに対する関心の高い学習者には有効な学習ツールとなるが、そうでない学習者は Duolingo の方を好み、ゲーム性がまずは学習習慣形成に役立つこと。

(b) ChatGPT の教育利用として、まずは教員向け、次に学生向けに、利用実態調査とリテラシー向上のワークショップを実施した。生成 AI (LLMs) の文章生成の仕組み (強みと限界) を理解することで、生成 AI を「解答マシン」や「代筆者」としてタスクを丸投げするような「活用」の回避につながることを確認できた。2024 年度は、「対話」を有効活用できる、批判的判断と自律性を持った学習者養成のために、ターゲット語彙・構文の練習のための例文・対話文の生成、オンラインのクイズおよびリフレクションに対するフィードバック生成等に ChatGPT を活用するハンズオンのタスクの設計・試行を行なったが、意識の変化 (気づき) は観察できたものの、行動の変容までは確認できていない。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【著書・論文 (査読なし)】

山内真理 (2025) 大学外国語教育における生成 AI との協働—教員と学習者のリテラシー形成に向けて—。千葉商大紀要, 62(3).

【学会発表等】

山内真理 (2025) 生成 AI を学びのパートナーに: 過信を防ぎ、有効活用を促すアプローチ. JADE 第 4 回授業実践フォーラム・第 1 回東北・関東・甲信支部大会, 2025.2.28, 甲府.

山内真理 (2025) デジタルツールで支える初級 EFL 学習者の対話型活動: 対面授業の実践例. UeLA フォーラム 2024 及び JADE & UeLA 合同フォーラム, 2025.3.4, 夙川

山内真理 (2025) 大学英語教育における生成 AI: 可能性と懸念の両面を見据えて. JACET 第 12 回英語教育セミナー, 2025.3.22, 大阪.

3. 主な経費

文献費、Text-to-Speech ツールのサブスク、学会出張旅費

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

(本文は2ページ以内にまとめること)